

3 検討対象地区の設定

3.1 検討対象区域

町田市雨水管理総合計画においては、浸水被害の発生状況や浸水リスク、資産・人口等の集積状況を勘案し、検討対象地区を設定します。

【検討対象区域の基本概念】

- ・主として市街地を対象とする。
- ・雨水公共下水道は、浸水被害の軽減を図るべき地域において実施するものであるため、山林等は対象区域として想定していない。
- ・下水道による雨水排除を行う区域、対策により市街地の浸水軽減が見込める区域等、地方公共団体の状況に応じて設定する。

出典：「雨水管理総合計画策定ガイドライン」（案）国土交通省

本市の排水区は大きく分けて3つあり、いずれも1,000haを超えています。本計画では排水分区単位で検討を実施しました。

なお、市街化調整区域については、山林や農地などが多くを占めており、市街化区域への編入や土地利用の大幅な改変を行う予定がないことから、検討対象区域から除外します。

よって、雨水管理総合計画の対象区域は市街化区域を対象とします。

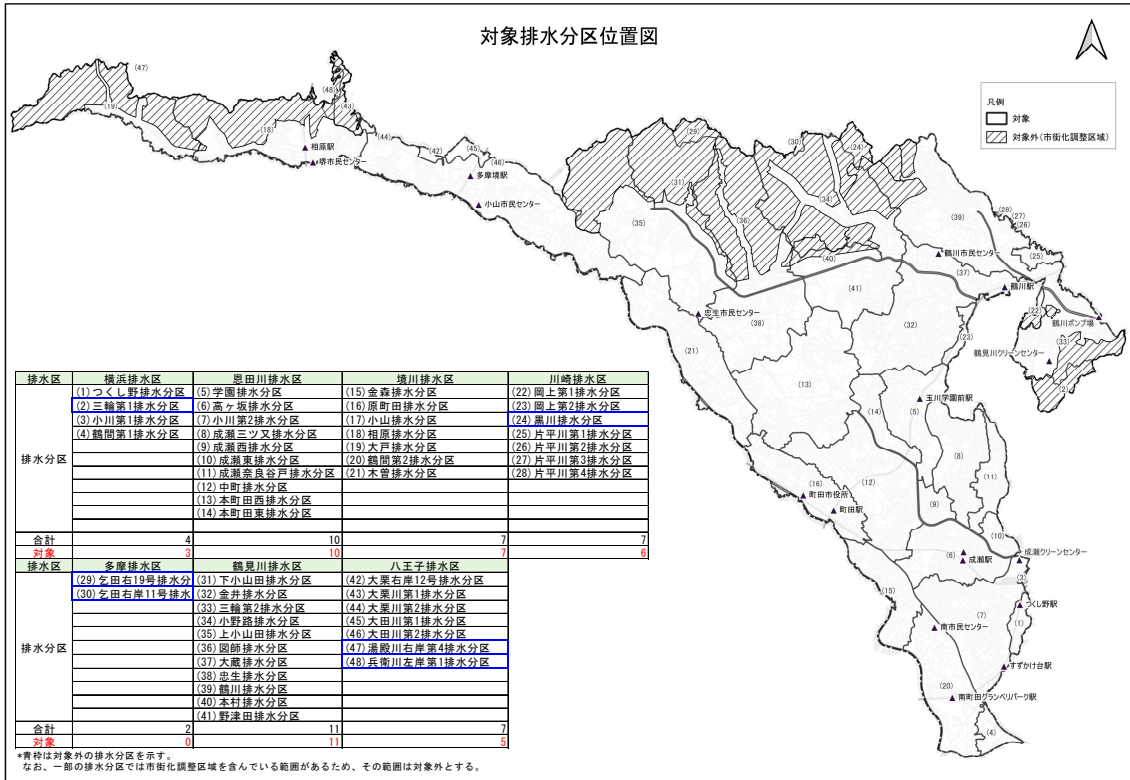


図 3-1 対象排水分区位置図

3.2 対象地区の選定

(1) 重点対策地区

重点対策地区は三つのカテゴリーに分け検討しました。

以下の3つのカテゴリーを設定し、重点対策地区として選定しました。

○カテゴリーA：

避難が困難な高齢者・障がい者・児童などが居住する施設等がある地域では、床上浸水を防止する必要性が高いため45cm以上の浸水が想定される地区を選定

○カテゴリーB：

幹線道路等は、車両の移動限界となる20cm以上の浸水が想定される地区を選定

○カテゴリーC：

過年度に浸水被害が発生した地区（想定される浸水深は問わない）

(2) 一般地区

町田市下水道事業計画区域のうち、重点対策地区を除いた地域を一般地区として設定しました。リスク評価（浸水リスク及び都市機能集積状況による評価）を実施し、優先的に雨水管整備を進めるエリアを排水分区単位で検討しました。

なお、重点対策地区及び一般地区は浸水シミュレーションの結果を考慮し設定します。

4 浸水要因分析と地域ごとの課題整理

4.1 浸水シミュレーション

浸水シミュレーションは、現在の町田市下水道事業計画で設定している雨水管整備における計画降雨 50mm/h 及び東京都豪雨対策基本方針における多様な対策手法による降雨 65mm/h を町田市の目標として実施しました。

また、水防法に基づく想定最大規模降雨に対する雨水出水浸水想定区域図を作成しました。

- (1) 計画降雨 (50mm/h)
- (2) 目標降雨 (65mm/h)
- (3) 想定最大規模降雨 (153mm/h)

町田市 浸水シミュレーション結果図(計画降雨 50mm/h)

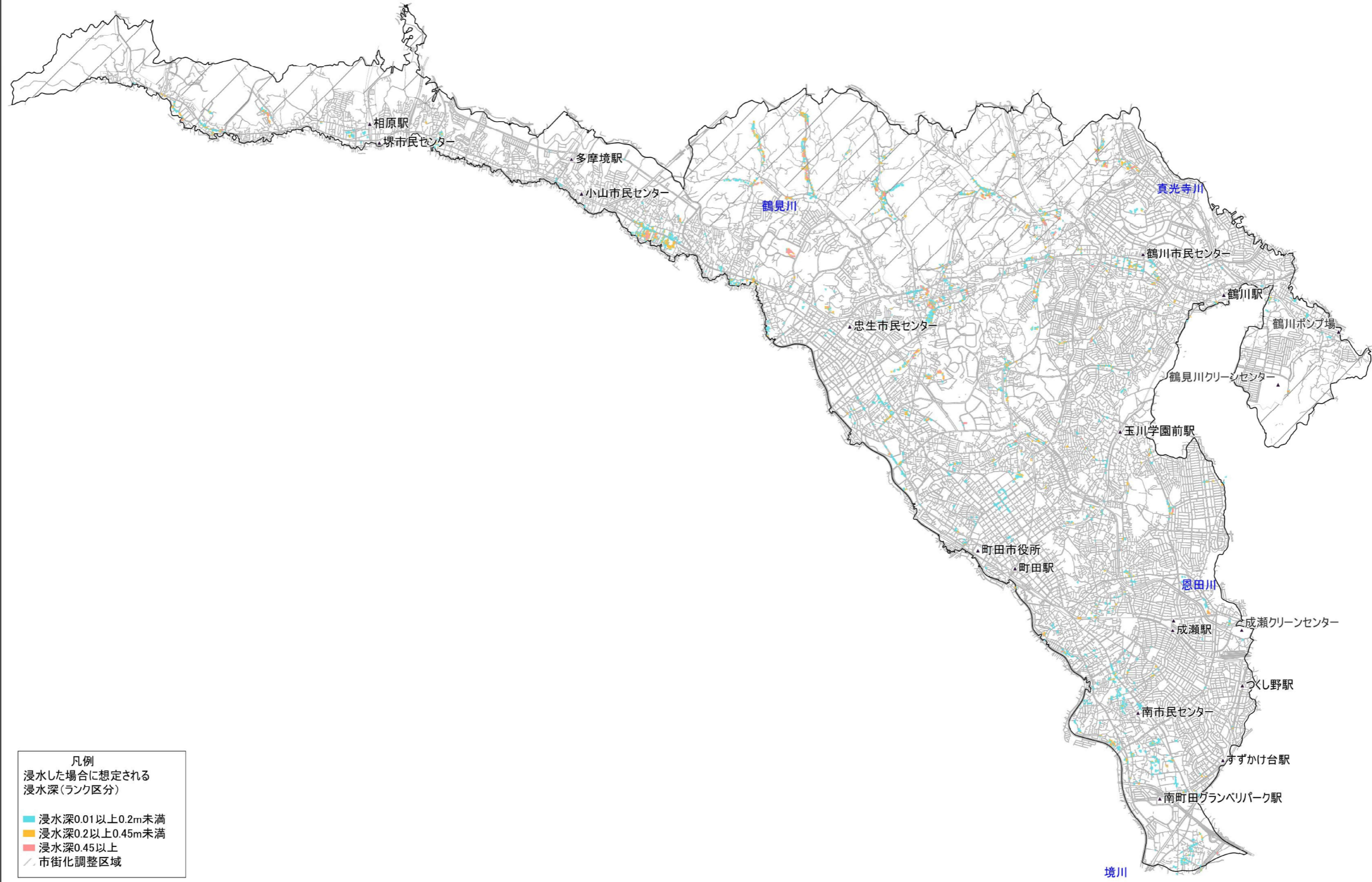


図 4-1 浸水シミュレーション結果図 (50mm/h)

町田市 浸水シミュレーション結果図(目標降雨 65mm/h)

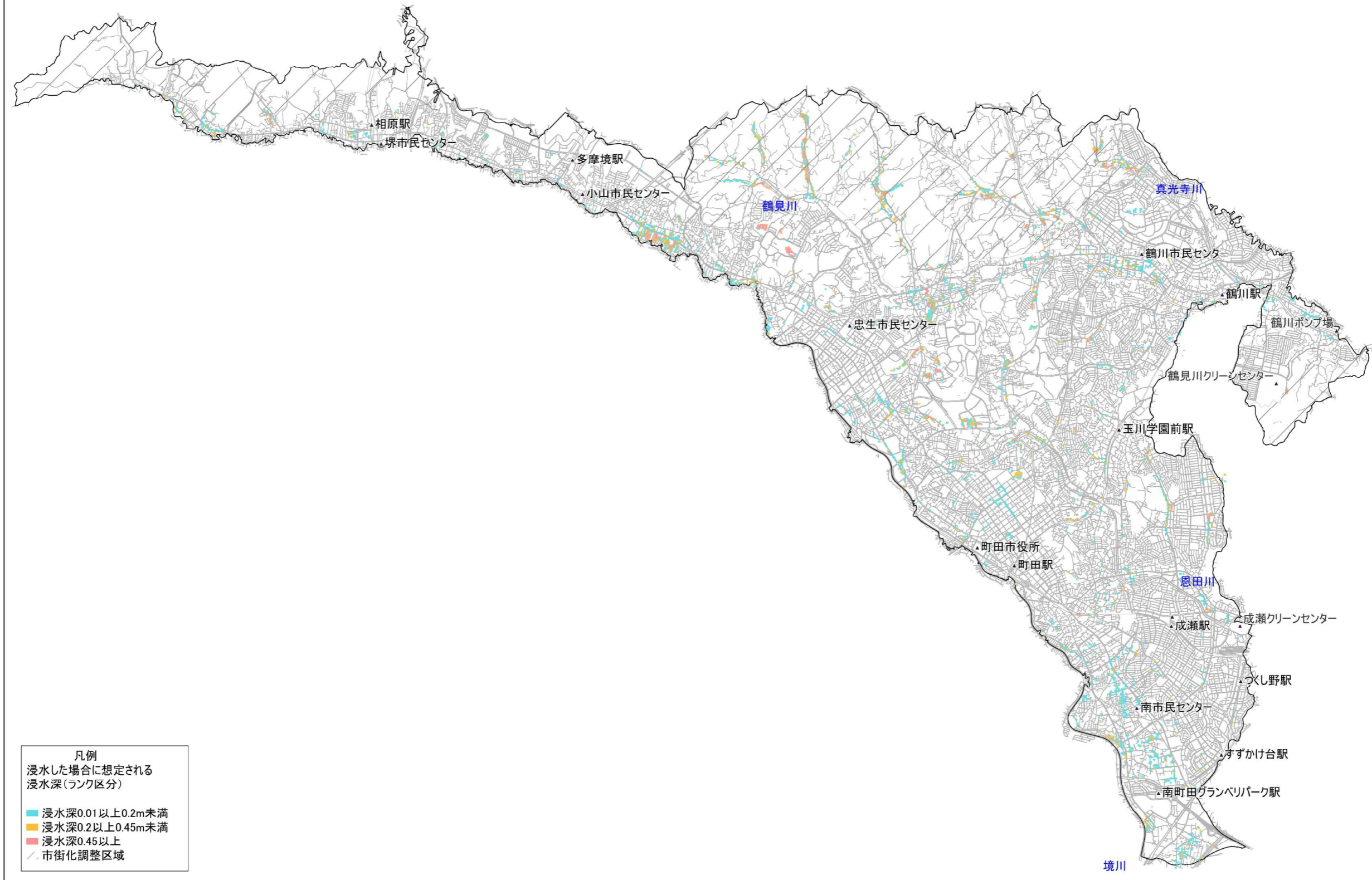


図 4-2 浸水シミュレーション結果図 (65mm/h)